

学 習 の 指 針 (シラバス)

教科名	理科	実施学年	1 年	週時数	3 時間
-----	----	------	-----	-----	------

1 学習の目標等

学習の目標	<ul style="list-style-type: none"> (1) 学習やグループの話し合いに積極的に参加する。 (2) 具体物を分類、比較し、比例などの関係を見つけ、観察や実験の結果から結論をまとめることができる。 (3) 発表やレポートなどでは、自分の考えや、気づいたことを、根拠を明確にして、表現できる。 (4) 実験器具の取り扱い、及び観察・実験の記録（文章、表、グラフ、スケッチ）を正確に取れるようにする。 (5) 教科書の太字の事項はしっかり身につける。
使用教科書・副教材等	大日本図書 理科の世界 1(教科書)、 ダブルトライ理科の学習(とうほう)、 最新理科便覧千葉県版 (浜島書店)

2 (1) 学習計画及び評価方法等 <6月1日現在>

	月	学習内容	学習のねらい	備考	評価
第1 学期	6	単元1 植物の生活と種類 身近な生物の観察 1章 植物の体のつくりと はたらき 2章 植物のなかま分け 3章 動物のなかま	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の校庭の植物を観察する。 ・学校の周りにある植物について、数回にわたって経過観察する。 ・いろいろな植物と生えている場所の特徴を観察し記録をする。 ・ルーペや双眼実体顕微鏡、顕微鏡を使って生物のつくりを調べ、記録方法を練習する。 ・花のつくりとはたらき、植物体内で水の運ばれ方、植物の養分の作り方、植物の呼吸を調べ、記録し、発表する。 ・種子でふえる植物を分類できる。 ・種子でふえない植物を分類できる。 ・セキツイ動物、無セキツイ動物の分類をすることができる。 	継続 実技	ワークシートの評価は年間を通して常時行います 定期テスト
	7	単元2 物質のすがた 1章 いろいろな物質 2章 気体の発生と性質	<ul style="list-style-type: none"> ・ガスバーナーの使い方を練習する。 ・いろいろなプラスチック、いろいろな金属を調べ、比較して共通点を探す。 ・質量の計測、メスシリンダーの使い方を学習し密度計算などから物質が何かを探る。 ・酸素、二酸化炭素、アンモニアなど、いろいろな気体の性質を理解する。 		
第2 学期	8	自由研究 (授業の進度による)	・夏休み自由研究		
	9	3章 物質の状態変化	<ul style="list-style-type: none"> ・物質の状態変化を調べ、粒子モデルで考えることができる。 ・蒸留より、混合物の精製を行なう。 		定期テスト
	10	4章 水溶液	<ul style="list-style-type: none"> ・水溶液を調べ、粒子モデルから考え方を理解する。 ・再結晶を用いて水溶液からの結晶を取り出す。 		
	11	単元3 身近な物理現象 1章 光の性質	<ul style="list-style-type: none"> ・光や音、力など身近な物理現象について実験などをもとに理解を深める。 ・光の進み方、反射、屈折について調べる。 ・凸レンズのはたらきを調べる。 		定期テスト
12					

		2章 音の性質 3章 力と圧力	<ul style="list-style-type: none"> ・音の伝わり方を調べる。 ・音の大きさや高さや音源の振動との関係を調べる。 ・物体にはたらく力について理解する。 ・2つの力のつり合いについて理解する。 		
第3 学 期	1 2 3	単元4 大地の変動 1章火山 2章地震 3章地層 4章 大地の変動	<ul style="list-style-type: none"> ・火山活動について理解する。 ・マグマが固まってできる岩石を観察、比較、分類する。 ・地震の起き方、振動の特徴、地震で起きる現象、防災の方法について学ぶ。 ・地層のでき方、特徴を理解する。 ・堆積岩と化石を観察、比較、分類できる。 ・様々な地形のでき方を学ぶ。 ・プレートテクトニクスについて学ぶ。 		定期テスト

3. 評価について

(1) 評価の観点及び内容・評価材料

	評価の観点及び内容	評価材料
自然事象への関心・意欲・態度	自然事象に進んで関わり、問題を見出し意欲的に学習する。	定期テストの関心の問題 授業ノート・ワーク提出 自由研究（授業の進度による）
科学的思考・表現	実験観察結果から結論を考察できる。 自然事象を論理的に説明することができる。	定期テストの思考の問題 ☆授業ワークシートでの考察 ☆授業での発言に見られる考察 自由研究（授業の進度による）
観察・実験の技能	観察実験技能を習得している。 現象を正しくとらえて記録することができる。	定期テストの技能の問題 パフォーマンステスト ☆授業ワークシートでの観察記録
自然事象についての知識・理解	自然現象についての概念や性質を理解している。	定期テストの知識の問題 小テスト

☆印の項目は、授業を欠席した場合評価に含めることができない場合があります。

(2) 観点別評価からの評定の算出の仕方

A=3点、B=2点、C=1点として4つの観点別評価を合計し、下の表に照らして評定を算出します。

評定	観点別評価の合計
5	12点
4	10～11点
3	7～9点
2	5～6点
1	4点